

ESPフォーキャスト調査 質問票  
2021年7月調査（7月8日頃公表予定）  
（回答の送信期限：7月5日12時）

機関名

- とりまとめる際のフォーキャスト一覧の機関名、肩書、氏名等の記載を変更する場合は、お書き添えください。
- 数字は半角で打ち込んでください。

I-(1) 年度(米国、中国、ユーロ圏のGDP、NY原油価格は暦年)

年度	名目GDP	実質GDP	実質民間最終消費支出	実質民間住宅投資	実質民間企業設備投資	実質民間在庫変動	実質政府最終消費支出	実質公的固定資本形成	実質公的在庫変動	実質財貨・サービスの輸出	実質財貨・サービスの輸入	鉱工業生産指数	経常収支	消費者物価(生鮮食品除く総合)	完全失業率	名目賃金指数	国債流通利回り(10年物)	日経平均株価	マネー・ストック(新Mo)	円相場(対米ドル)	米実質GDP(暦年)	NY原油価格(WTI/バレル)(暦年)	中国実質GDP(暦年)	貿易収支(億ドル)	ユーロ圏実質GDP(暦年)
	増減率%	増減率%	増減率%	増減率%	増減率%	寄与度%	増減率%	増減率%	寄与度%	増減率%	増減率%	増減率%	兆円	上昇率%	%	増減率%	%	円	増減率%	円	増減率%	期中平均	増減率%	兆円	増減率%
2020 実績	▲3.9	▲4.6	▲6.0	▲7.1	▲6.9	▲0.2	3.2	4.3	▲0.0	▲10.5	▲6.9	▲9.5	18.2	▲0.4	2.9	▲1.5	0.03	24459	8.1	106.1	▲3.5	39.3	2.3	1.3	▲6.8
2021 予測																									
2022 #																									

注:①国債流通利回り、日経平均株価、円相場、NY原油価格は、いずれも**営業日平均**。②名目賃金指数は、毎月勤労統計調査の事業所規模5人以上(パートタイム労働者を含む)の現金給与総額

I-(2) 予測値の主観的な分布

・実質GDP増加率

	x ≤ -3	-3 < x ≤ -2.5	-2.5 < x ≤ -2	-2 < x ≤ -1.5	-1.5 < x ≤ -1	-1 < x ≤ -0.5	-0.5 < x ≤ 0	0 < x ≤ 0.5	0.5 < x ≤ 1	1 < x ≤ 1.5	1.5 < x ≤ 2	2 < x ≤ 2.5	2.5 < x ≤ 3	3 < x ≤ 3.5	3.5 < x ≤ 4	4 < x ≤ 4.5	4.5 < x ≤ 5	5 < x	合計値	
(例)x年度予測				10	10	50	20	10												100
2021 予測																				0
2022 #																				0

・CPI生鮮食品除く(総合)上昇率

	x ≤ -4	-4 < x ≤ -3.75	-3.75 < x ≤ -3.5	-3.5 < x ≤ -3.25	-3.25 < x ≤ -3	-3 < x ≤ -2.75	-2.75 < x ≤ -2.5	-2.5 < x ≤ -2.25	-2.25 < x ≤ -2	-2 < x ≤ -1.75	-1.75 < x ≤ -1.5	-1.5 < x ≤ -1.25	-1.25 < x ≤ -1	-1 < x ≤ -0.75	-0.75 < x ≤ -0.5	-0.5 < x ≤ -0.25	-0.25 < x ≤ 0	0 < x ≤ 0.25	0.25 < x ≤ 0.5	0.5 < x ≤ 0.75	0.75 < x ≤ 1	1 < x ≤ 1.25	1.25 < x ≤ 1.5	1.5 < x ≤ 1.75	1.75 < x ≤ 2	2 < x ≤ 2.25	2.25 < x ≤ 2.5	2.5 < x ≤ 2.75	2.75 < x ≤ 3	3 < x ≤ 3.25	3.25 < x ≤ 3.5	3.5 < x ≤ 3.75	3.75 < x ≤ 4	4 < x	合計値			
(例)x年度予測																5	15	20	30	20	10																	100
2021 予測																																						0
2022 #																																					0	

II. 四半期

四半期	実質GDP		実質民間最終消費支出	実質民間企業設備投資	実質財貨・サービスの輸出	実質財貨・サービスの輸入	消費者物価(生鮮食品除く総合)	完全失業率	円相場(対ドル)	株価(日経平均)	鉱工業生産指数
	前年比%	前期比%	前年比%	前期比%	前年比%	前期比%	前年同季比%	%	期末、円	期末、円	前期比%
2021 I #	▲3.9	▲1.0	▲1.5	▲1.2	2.2	3.9	▲0.4	2.8	110.7	29179	2.9
2021 II 予測											
2021 III #											
2021 IV #											
2022 I #											
2022 II #											
2022 III #											
2022 IV #											
2023 I #											

III. 総合景気判断D1

- 総合景気判断として、各期ごとに「上昇」、「横ばい」、「下降」のいずれかを選択し、以下の該当する欄に“○”を入力してください。

	総合景気判断		
	上昇	横ばい	下降
2021 II 予測			
2021 III #			
2021 IV #			
2022 I #			
2022 II #			
2022 III #			
2022 IV #			
2023 I #			

参考:景気動向指数DI(一致指数)の動きを想定して、以下のようにご判断ください。  
当期のDIが50超であるとされる場合 → 「上昇」  
当期のDIが50未満であるとされる場合 → 「下降」  
当期のDIが50近傍、または明確な動きにないと思われる場合 → 「横ばい」

IV. 21年4～6月期の成長率(その他項目)

- 「II」の項目以外の前期比伸び率が、「上昇(伸び率の符号はプラス)」、「ほぼゼロ」、「低下(伸び率の符号はマイナス)のいずれかを選択し、以下の該当する欄に“○”を入力してください。在庫変動については、前期比伸び率ではなく、実質GDP成長率に対する寄与度についてお答えください。

(実質)	前期比伸び率		
	上昇	横ばい	低下
民間住宅投資			
民間在庫変動(寄与度)			
公的固定資本形成			
政府最終消費			
公的在庫変動(寄与度)			

V. 景気の転換点

- 政府見解では**2018年10月が景気の山(暫定)**となっています。その次の景気の**転換点(谷)**はもう過ぎたとお考えですか。

(1) 「はい」、「いいえ」の一方に“○”を入力してください。

はい	いいえ
----	-----

(2) ●(1)で「はい」の場合にお答え下さい。

**転換点(谷)**はいつだったとお考えですか。"年(西暦4ケタ)"と"月"を記入してください。

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
----------------------	---	----------------------	---

<input type="text"/>	%
----------------------	---

(2) ●(1)で「いいえ」の場合にお答え下さい。

今後1年以内に景気の**転換点(谷)**がくる確率はどの位あると予測していますか。%で記入して下さい。

(3) ●(1)で「はい」の場合にお答え下さい。

その次の景気の**転換点(山)**はもう過ぎたとお考えですか。

「はい」、「いいえ」の一方に“○”を入力してください。

はい	いいえ
----	-----

(4) ●(3)で「はい」の場合にお答え下さい。

**転換点(山)**はいつだったとお考えですか。"年(西暦4ケタ)"と"月"を記入してください。

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
----------------------	---	----------------------	---

<input type="text"/>	%
----------------------	---

(4) ●(3)で「いいえ」の場合にお答え下さい。

今後1年以内に景気の**転換点(山)**がくる確率はどの位あると予測していますか。%で記入して下さい。

(5) ●(3)で「はい」の場合にお答え下さい。

その次の景気の**転換点(谷)**はもう過ぎたとお考えですか。

「はい」、「いいえ」の一方に“○”を入力してください。

はい	いいえ
----	-----

(6) ●(5)で「はい」の場合にお答え下さい。

**転換点(谷)**はいつだったとお考えですか。"年(西暦4ケタ)"と"月"を記入してください。

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
----------------------	---	----------------------	---

<input type="text"/>	%
----------------------	---

(6) ●(5)で「いいえ」の場合にお答え下さい。

今後1年以内に景気の**転換点(谷)**がくる確率はどの位あると予測していますか。%で記入して下さい。

VI. 日銀の金融政策

(1) ● 日銀の政策金利・誘導目標の見直しについてお尋ねします。

2021年末、22年末の日銀の短期政策金利、長期金利の誘導目標・実勢金利はそれぞれどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。【現状維持】を予想される場合は、短期は「▲0.1%以上～0%未満」、長期は「0%以上～0.1%未満」をお選びください。

		▲0.3%未満	▲0.3%以上 ▲0.2%未満	▲0.2%以上 ▲0.1%未満	▲0.1%以上 0%未満	0%以上 0.1%未満	0.1%以上 0.2%未満	0.2%以上 0.3%未満	0.3%以上 0.4%未満	0.4%以上 0.5%未満	0.5%以上 0.75%未満	0.75%以上 1.0%未満	1.0%以上
短期政策金利 (現状 ▲0.1%)	21年末												
	22年末												
長期金利の誘導目標 (現状 0%程度)	21年末												
	22年末												
実勢の長期金利 (10年物国債流通利回り)	21年末												
	22年末												

(2) ● 枠組み自体の変更など(上記の補足も含む)があればご記入ください。

--

VII. (特別調査) 米国の金利

(1) ● 2021年末、22年末の米国の政策金利(FFレート・市場実勢値)はどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。

		▲1.0%未満	▲1.0%以上 ▲0.75%未満	▲0.75%以上 ▲0.5%未満	▲0.5%以上 ▲0.25%未満	▲0.25%以上 0%未満	0%以上 0.25%未満	0.25%以上 0.5%未満	0.5%以上 0.75%未満	0.75%以上 1.0%未満	1.0%以上 1.25%未満	1.25%以上 1.5%未満	1.5%以上 1.75%未満	1.75%以上 2.0%未満	2.0%以上 2.25%未満	2.25%以上 2.5%未満	2.5%以上 2.75%未満	2.75%以上 3.0%未満	3.0%以上 3.25%未満	3.25%以上 3.5%未満	3.5%以上 3.75%未満	3.75%以上
米国のFFレート (現状0.00～0.25%)	21年末																					
	22年末																					

(2) ● 2021年12月末、22年6月末、22年12月末の米国の長期金利(10年国債)はどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。

		0.5%未満	0.5%以上 0.6%未満	0.6%以上 0.7%未満	0.7%以上 0.8%未満	0.8%以上 0.9%未満	0.9%以上 1.0%未満	1.0%以上 1.1%未満	1.1%以上 1.2%未満	1.2%以上 1.3%未満	1.3%以上 1.4%未満	1.4%以上 1.5%未満	1.5%以上 1.6%未満	1.6%以上 1.7%未満	1.7%以上 1.8%未満	1.8%以上 1.9%未満	1.9%以上 2.0%未満	2.0%以上 2.1%未満	2.1%以上 2.2%未満	2.2%以上 2.3%未満	2.3%以上 2.4%未満	2.4%以上 2.5%未満	2.5%以上 2.6%未満	2.6%以上 2.7%未満	2.7%以上 2.8%未満	2.8%以上 2.9%未満	2.9%以上 3.0%未満	3.0%以上
米国の長期金利 (10年国債)	21年12月末																											
	22年6月末																											
	22年12月末																											

VII. (特別調査) 景気のリスク

● 仮に現在が景気拡張局面だとすると、半年から1年後にかけて、景気上昇を抑える(あるいは景気を反転させる)可能性があるとしたら、要因は何だと思いますか。重要なものに3つまで"○"を入力してください。また、よろしければ○を付けた理由を右欄にご記入ください。

	3つまで○	○を付けた理由
①円高		
②株安		
③金利上昇		
④原油価格の上昇		
⑤公共投資の減少		
⑥米国の景気の悪化		
⑦中国景気の悪化		
⑧IT部門(電子部品など)の悪化		
⑨国内政治の不安定化		
⑩国際関係の緊張や軍事衝突		
⑪保護主義の高まり		
⑫新型コロナウイルスの感染状況		
⑬オリンピックの再延期・中止		
⑭その他(具体的に→→→)		
⑮原因になるものはない		

IX. (特別調査) オリンピック開催

(1) ● 今回の予測に、2021年度のオリンピック開催を繰り込んでいますか。

あてはまるものに"○"を入力してください。

はい		いいえ	
----	--	-----	--

(2) ● 「いいえ」の場合にお答えください。

繰り込んでいないのはなぜですか

あてはまるものに"○"を入力してください。(複数回答可)

①開催経費がどの程度膨らむのを見逃せない	
②再延期・中止の可能性も否めない	
③その他(具体的に→→→)	

X. (特別調査) 2023年度予測

● I で2022年度まで聞いていますが、2023年度の実質経済成長率と消費者物価上昇率について、どの程度になると予想していますか。%で入力して下さい。

		2023年度	%
実質経済成長率			%
CPI上昇率 (生鮮食品を除く総合)			%